

【第十二回】「硬筆書写の基礎・基本とその応用」

— 漢字楷書 『字形の整え方』 その八 —

文教大学文学部講師
本誌編集委員

米本 美雪

◇はじめに

今回は主に、強調する画の「凡（ひとあし・んにょう）」と、基本点画の点（立ち点や斜め点）の書き方について解説しました（第三十五項〜第三十八項）。

今回は、左右の点画の高さの関係性や、字形全体を捉える要素となる文字の「中心」について解説します。

◎学習手順

- ①〜③の△文字例について、それぞれの改善点を記入例を参考にして書いてください（下記の記入例を参照）。
- 各文字の改善点と、字形の整え方の解説を確認してください。
- 解説内容に留意しながら、各文字のなぞり書きとまとめ書きを行ってください。

<記入例>

①
三
始筆の筆圧は強く入筆せず、 曲線的に右下がりに書かない。

△文字例 改善点

①「火」 ②「山」 ③「雨」 ④「竹」

△文字例 改善点

②	③	④	①
竹	雨	山	火

□改善点

- ①第二画の左払いが第一画の点より下げない。
- ②第三画の始筆は第二画の始筆より下げない。
- ③第七・八画の点は第五・六画の点より下げない。
- ④第四・五画は第一・二画より下げない。

□解説

字形の整え方

三十九、右部分の点画は、横画の上がり方を想定して、左部分の点画より上げて書く。

①「火」の第一画に対して、横画の上がり方とほぼ同じ程度上げて第二画の左払いを書くとき、字形が整います。図1に①〜④の文字について、横画の上がり方を想定して書く、隠れている横画部分を点線で示します。△文字例との字形の違いを確認してください。①〜④の文字が部首



図4

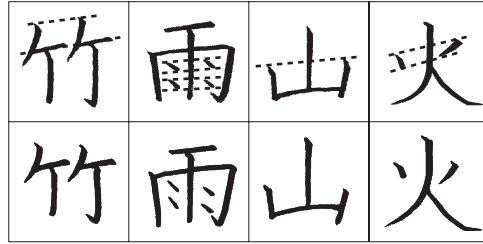


図1
文字例
△文字例



図2
文字例

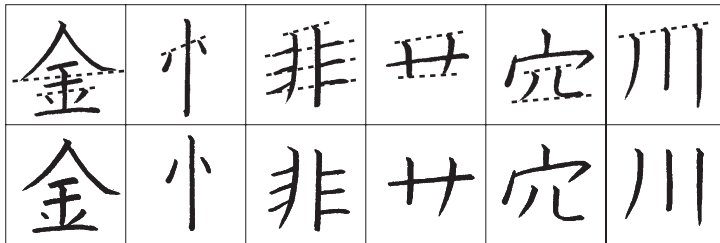
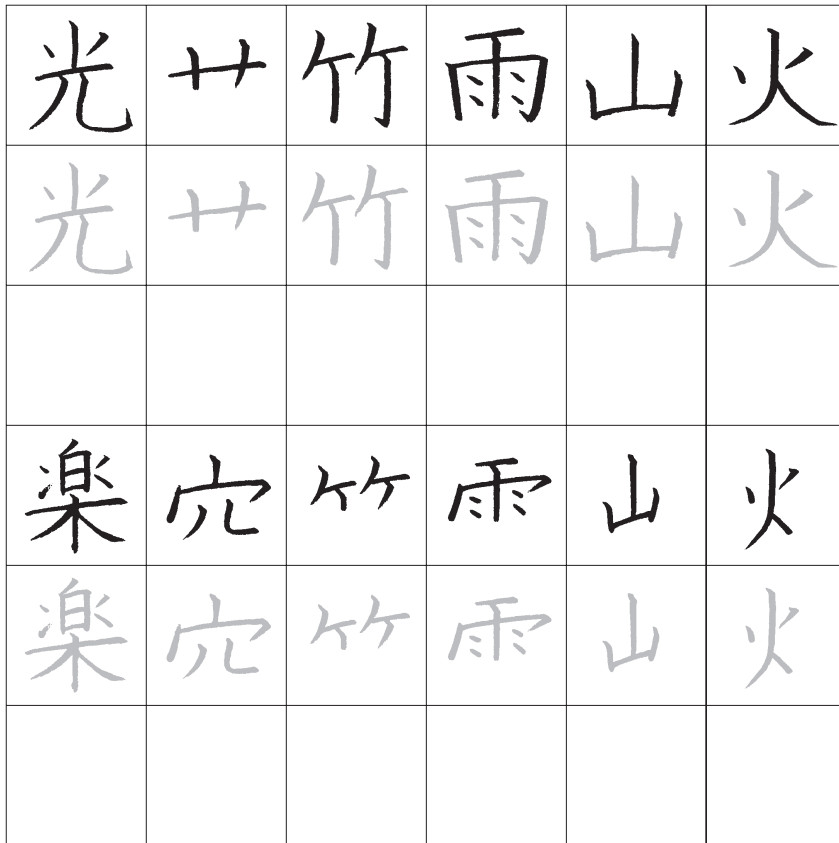


図3
文字例
△文字例

になった場合においても、同様に隠れている横画を想定して書きます(図2参照)。
 その他、「川(かわ)」「艹(くさかんむり)」「巾(りっしんべん)」「小(しょう)」「宀(あなかんむり)」「羊(ひつじ・ひつじへん)」「糸

(いと・いとへん)」「西(にし)」「羽(はね)」「米(こめ)」「赤(あか)」「非(あらず)」「金(かね・かねへん)」など、隠れている横画を想定して書くことにより字形が整う部首は数多くあります。

これらの中から、特に散見される△文字例や、隠れている横画部分を点線で図3に示します。また、その他の文字例についても図4に挙げさせていただきます。



なぞり書き まとめ書き

なぞり書き まとめ書き

※書いてみよう「火」「火(ひへん)」「山」「山(やまへん)」「雨」「雨(あめかんむり)」「竹」「竹(たけかんむり)」「艹(くさかんむり)」「宀(あなかんむり)」「光」「楽」

② 「歩」

△文字例 改善点

②
歩
改善点

□改善点

Ⓜ第五画の縦画は第一画の縦画より左に書かない。

□解説

字形の整え方

四十、下部は上部より左に寄らないように中心に留意して書く。

図5

中心を捉えやすい漢字

文字例 △文字例

走	宗	文	子	令
走	宗	文	子	令

図6

中心を捉えにくい漢字

文字例 △文字例

冬	売	空	春	花
冬	売	空	春	花

字形を整えるためには、文字の中心に留意することが肝要です。「歩」は、第一画の縦画の真下に第五画の縦画を書くとき中心が通り字形が

整いますが、「歩」のように中心が捉えやすい文字ばかりではありません。図5に中心が比較的に捉えやすい文字例と、図6に中心が捉えにくい文字例が

※書いてみよう「歩」「子」「令」「冬」「売」「空」「春」「花」

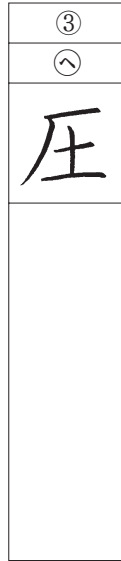
なぞり書き まとめ書き 中心を通すためのポイント

歩	子	令	冬	売	空	春	花
歩	子	令	冬	売	空	春	花
第一画の縦画の真下に第五画の縦画を書く。 第七画の始筆は第六画の始筆より上げて書く（第三十九項）。	●印の三点を一直線上に書く。	第二画の終筆は第一画の終筆より上げて書き、第一画と第二画の交点の真下に下部を書く（図5△文字例のように、第一画の終筆より第二画の終筆を下げると下部が左に寄りやすい）。	第三画の終筆は第二画の終筆より上げて書き、第二画と第三画の交点より左に寄りないように第四・五画の点を書く（図6△文字例のように第二画の終筆より第三画の終筆を下げると点が左に寄りやすい）。	第二画の縦画を「にんによう・ひとあし」の中心に書く。第七画の始筆は第六画の始筆より上げて書く（第三十九項）。	第一画を第四・五画の中心に書き、また、第五画は第四画より上げて書く（第三十九項）。第一画と第七画を一直線上に書く。	第五画の終筆は第四画の終筆より上げて書き、第四画の始筆に対して、「日」の中心が左に寄りないように書く（図6△文字例のように第四画の終筆より第五画の終筆を下げると「日」が左に寄りやすい）。	第二画の終筆の下から第四画の始筆を書き、「くさかんむり」に対して「化」が左に寄りないように書く。第三画は第二画より上げて書く（第三十九項）。

くい文字例を掲載します。これらの文字の中心となる部分を点線で示しますので、△文字例との字形の違いを確認してください。

③ 「庄」

△文字例 改善点



□改善点

③ 第一画の中心に対して「土」を左に寄せない。

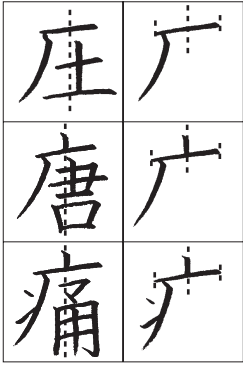
□解説

字形の整え方

四十一、「たれ」の中に入る部分の中心は、「たれ」の横画の中心に対して右に寄せて書く。

「尸(がんだれ)」「尸(まだれ)」「尸(やまだれ)」など、「たれ」の中に入る部分の中心は、「たれ」の横画の中心より右に寄せて書きます。

図7



三種類の「たれ」の横画の中心線と、各文字例を図7に示しますので、参照してください。

今回は、点画の左右の関係性や文字の中心について解説しました。隠れている横画を考慮して書くことや、文字の中心を通して書くことは、字形を整えるための要素となります。細部に留意して書くよう心がけてください。

次回も字形の整え方について解説します。

—まとめ問題にチャレンジ—

次の平仮名を漢字に直し、左右の点画の高さや文字の中心に留意して□内に書いてみましょう。

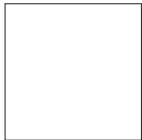
(1) そつ業



(2) き色



(3) 内よう



(4) ちよ名人



解答

(1) 卒

(2) 黄

(3) 容

(4) 著

※書いてみよう「庄」「唐」「痛」

なぞり書き まとめ書き

